

令和6年度 地域ケア会議（個別会議） 開催一覧

男鹿市地域包括支援センター

開催日	内容		
	養護老人ホーム 入所判定	内容	見えてきた地域の強み・課題
5月16日	—	介護サービスを利用したいが、事業所の職員不足により地域への支援が難しく、周囲や家族等の協力者の負担が大きくなっているケース。	○課題 ・通所系サービスの事業所不足、送迎の範囲が限定される ・買い物支援
6月20日	—	本人の気分や方針が変わりやすく、サービス提供の提案や対応が難しいケース。	○強み ・夫も体調が悪い時があるが、妻の気持ちに寄り添いながら、ケアマネとも冷静に話ができる。 ・ケアマネ、サービス事業所が本人の要望に適宜対応している。
7月18日	1件	本人と家族から施設利用の依頼があったが、今まで施設利用時にトラブルがあり、新たな利用先施設が見つからないケース	○強み ・近所や友人とのつながりがあり、家の扉や給湯器の修繕をしてくれるなど、支援がある。
8月22日	—	本人は持病あり。夫は認知症で、介護サービスを拒否している。支援者の息子も実家に行く機会が減っている状況の中で、在宅生活を希望するケース。	○強み ・近くの親戚による声掛け、交流（適度な距離感）を図ってもらう。 ・看護師の訪問は良いと言う時もあり、訪問看護を利用し、その後ヘルパーの利用に繋げる。 ○課題 ・人を家に入れたがらない、他人に頼れない高齢者もいる。
9月19日	1件	【自立支援型地域ケア会議】 病状の変化を心配しているが、自宅での生活を希望しているケース。	○強み ・地域のリハビリ施設が利用できており、その仲間との交流が広がる。
11月21日	1件	【地域ケア推進会議】	

12月19日	—	アルコール依存症があり、飲酒すると各機関への長時間の電話をかけてしまい、業務に支障が出ているケース	○強み ・デイサービスを利用中だが、仲の良い方が来なくなり、休みがち。ケアマネに相談し、話し相手がいそうな曜日に利用日を変更する予定。 ○課題 ・傾聴ボランティアなどを行なえるボランティアの育成
1月16日	—	【訪問介護の回数が多い居宅介護サービス計画の事例検討】 本人は自宅での生活を望んでおり、適切な食事の確保と清潔保持のために支援が必要なケース。近隣市に在住する次女の援助を受けている。	○検討結果 本プランは妥当 ○強み ・つばきカフェといった認知症カフェや、料理教室など人が集える場がある。 ○課題 ・訪問介護事業所の不足
2月20日	—	【居宅介護支援事業所単位で抽出するケアプラン点検の事例検討】 本人や家族の要望から、現在は在宅型の有料老人ホームにて、訪問介護サービス（昼夜）、訪問リハビリテーションサービスを利用しているケース。	○検討結果 ・本人と家族が安心して生活を続けていくためには、本プランは妥当。 ○強み ・家族の個別な要望にも対応できる施設。 ・施設で、外部の訪問看護、訪問介護と連携ができています。 ○課題 ・訪問介護事業所の不足 ・家族が施設で看取りをできる施設が市内には少なく、マンパワー不足が要因の1つである。
2月20日	—	【自立支援型地域ケア会議】 転倒の心配があるほか、服薬管理ができていない事があるが、できるだけ支援を受けずに、自宅での1人暮らしを続けていくことを希望しているケース。	○強み ・市内に訪問リハビリ事業所、ヘルパー事業所、訪問看護ステーションがあり相談しやすい環境であり、本人の支援希望のタイミングを見図り対応を検討できる。
3月27日	—	下肢痛や筋力低下で独歩が困難であり、本人からも「自宅で生活は大変」と話があった。施設入所は本人が経済的に心配されており、施設側からは緊急時に近くに対応してくれる人がいないため難色を示されている。訪問介護は本人が難色を示しているケース。	○強み ・デイサービスを週2回利用中であり、本人の楽しみになっている。 ・ケアマネの負担は大きいですが、何でも相談できる存在である。